事例No.	2281
公表年度	R4
団体の属性	一般市
団体名	北海道富良野市

事例区分	地域活性化

タグ	・公共施設活用 ・関係人口 ・EBPM

事例種類	経済効果の検証

事例内容・タイトル

病院跡地を利用した拠点形成とその波及効果によるにぎわい創出

出典

地方自治研究機構：近接する都市整備に伴う相互波及・効果を踏まえた経済効果の検証に関する調査研究（令和２年度）

<調査研究事業：近接する都市整備に伴う相互波及・効果を踏まえた経済効果の検証に関する調査研究（令和２年度）>

〇近接する都市整備に伴う相互波及・効果を踏まえた経済効果の検証

・病院跡地を利用した拠点形成とその波及効果によるにぎわい創出

取組団体：北海道富良野市

取組内容：「フラノマルシェ」を中心とした、富良野市中心市街地再活性化

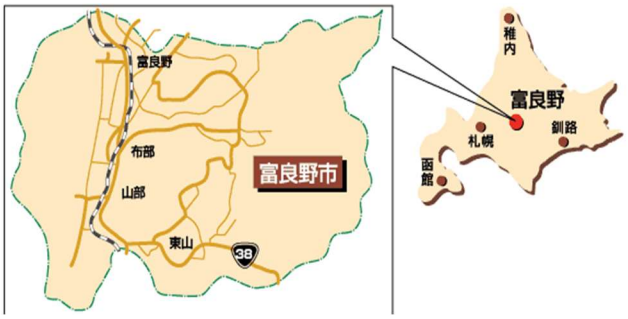
１．富良野市の概要

人口：20,303 人（令和４年８月末現在）

職員数（一般行政職）：258 人（令和４年４月１日現在）

総面積：600.71 ㎢

図表１ 富良野市の位置図



出典：富良野市「富良野市の概要」

２．取組の背景・目的

平成 20 に策定された「富良野市中心市街地活性化基本計画」に基づく第１弾事業として整備された「フラノマルシェ」では、地域の「食」を活用したブランド構築や、コミュニティ機能の提供による拠点形成と地域活性化に成功した。その後、中活計画に基づく第２弾の事業として、「東４条街区地区市街地再開発事業（通称：ネーブルタウン）」（店舗、賃貸住宅等の生活機能、コミュニティ機能）、その後、「フラノ・コンシェルジュ整備事業」（空きビルの再生）へと続き、中心市街地の機能更新が進み、周辺にも活性化が波及した。

富良野駅周辺の中心市街地の衰退が懸念されていた中、平成 19（2007）年に北海道社会事業協会富良野病院（通称：協会病院）が、富良野駅西側市街地から駅東側に移転した。これを契機に、中心市街地の人通りが減少し、まちの空洞化が進んだ。

このような状況で、地元の事業者等で構成された「中心市街地活性化協議会」が、まちづくりの基本コンセプトとして「ルーバンフラノ構想」を富良野市に提出した。富良野市はこれに基づき、「富良野市中心市街地活性化基本計画」を策定した。その後、同計画に基づくまちづくりが進められ、「ふらのまちづくり株式会社」が平成 22（2010）年、地域のにぎわい創出と拠点づくりを目的として、協会病院跡地に「フラノマルシェ」を整備した。これは、民間主導の地域活

性化と言われているが、富良野市は、病院跡地を取得し、「ふらのまちづくり株式会社」に固定資産税相当額で土地を貸与することで、マルシェの持続可能な運営を支援している。

３．取組の内容

「フラノマルシェ」は、地域のにぎわい創出と拠点づくりを目的に、富良野の高品質な「食」とコミュニティ機能の提供を特徴としている。例えば、マルシェを構成する JA ふらの直営の農産物直売所「オガール」では、地元農産物と加工食品が、富良野物産センター「アルジャン」では、ふらのワイン等の地域特産物や、ラベンダー商品等の各種グッズが販売されている。その他、富良野メロンジェラート等、富良野の食文化を活かした軽食店が出店している。また、マルシェの中央にはイベント広場が設けられており、様々な催しが開催されている。

さらに、平成 27（2015）年、「フラノマルシェ」に近接する「フラノマルシェ２」を含む「ネーブルタウン」が、「ふらのまちづくり株式会社」によって整備された。「フラノマルシェ２」には、飲食店や雑貨店に加えて、全天候型交流空間「タマリーバ」や「マルシェギャラリー」が設置され、都市機能の一つとしてコミュニティ機能を配置（整備）している。その他「ネーブルタウン」内には、市立保育所、サービス付き高齢者住宅、内科クリニック、賃貸住宅等も整備されており、まちなか居住や三世代交流が促進されている。

図表２ 「フラノマルシェ」内富良野物産センター「アルジャン」



出典：フラノマルシェ・ショップリスト
（https://marche.furano.jp/?page_id=1610）

図表 3 「フラノマルシェ２」内イベントスペース「タマリーバ」



出典：フラノマルシェ・タマリーバ＆ギャラリー
（https://marche.furano.jp/?page_id=1761）

富良野市中心市街地の再活性化の一環として、平成 30（2018）年には、「ふらのまちづくり株式会社」による「フラノ・コンシェルジュ整備事業」が展開され、百貨店撤退後の空きビルが再活用された。「コンシェルジュフラノ」と名付けられたこの施設は、「観光・滞在・食」がキーワードとなっており、１階に観光インフォメーションセンター等、２階に富良野市の商工観光課、富良野商工会議所、ふらの観光協会等、３階に簡易宿泊施設「ホステルトマール」、４階にコミュニティ FM 等が入居する多目的複合ビルへとリノベーションされた。

図表 4 「コンシェルジュフラノ」外観



出典：ふらのまちづくり株式会社「コンシェルジュフラノ」
（https://machi-web.furano.jp/?page_id=60）

４．成果

「フラノマルシェ」を中心とした、富良野市中心市街地再活性化のための取組の成果として、主に以下の点が考えられる。第一に、富良野の食文化のブランド化が挙げられる。上記のよう

に、マルシェ内の各店舗において、地域の食材や特産物が積極的に活用されている。また、これら食材や特産物の６次産業化によって、地域経済の活性化にも寄与している。第二に、まちづくりの観点から、「はばたく商店街 30 選 2019」の選出等、様々なところで取組が評価され、全国に波及している点が考えられる。これにより、「フラノマルシェ」とその周辺の知名度が上がり、集客効果がさらに高まると推察される。

【参考】

＜URL＞

富良野市「富良野市の概要」

https://www.city.furano.hokkaido.jp/life/docs/2013062500027.html?cat=/life/gyosei/aboutus/

国土交通省・今後の市街地整備のあり方に関する検討会

「市街地整備 2.0　新しいまちづくりの取り組み方」に資する事例集

「２　市街地整備の進め方の転換　事例５　まちづくり会社の主導による多様な公民連携事業の連鎖的な展開【富良野市中心市街地（北海道富良野市）】」

https://www.mlit.go.jp/toshi/city/sigaiti/content/02_shigaichi2.0.pdf

中心市街地活性化協議会支援センター・まちづくり事例

「『ルーバンフラノ構想』に基づいて戦略的に進める“連鎖する”まちづくり～富良野市中心市街地活性化の取組み～（北海道富良野市）」

https://machi.smrj.go.jp/machi/public/example/furano_rorikumi_jirei_20220415.html

ふらのまちづくり株式会社「コンシェルジュフラノ」

https://machi-web.furano.jp/?page_id=60

フラノマルシェ HP：

https://marche.furano.jp/

＜資料・文献＞

経済産業省・中小企業庁編（2015）「ふらのまちづくり株式会社」、『がんばる中小企業・小規模事業者 300 社/商店街 30 選　2015』、pp. 424-425

経済産業省・中小企業庁編（2019）「富良野中心市街地商店街（ふらのまちづくり株式会社）」、『はばたく中小企業・小規模事業者 300 社/商店街 30 選　2019』、pp. 373-374

濵満久・上田幸則（2015）「地域ブランド構築のマネジメント」、『名古屋学院大学論集　社会科学篇』、第 52 巻、第１号、pp. 65-85

山島哲夫（2015）「まちなかの活性化―フラノマルシェの試み―」、『宇都宮共和大学　都市経済研究年報』、15 巻（2015）、pp. 48-54